

2030~2035

NA-7

鳥取県の過酷な自然環境は、教育における非認知能力（※1）の中でも、心身ともに折れないレジリエンス性（※2）を高める最適な場になる

概要

教育におけるDX化の進行によりAIを活用した教育が主流となることで、座学学習の学習効率が向上する。その結果授業時間に余裕が生まれることから、各地域の特色を活かした学びが全国各地で活発になる。その中でも、鳥取県は雪、砂丘などの過酷な自然環境を活かした子どものレジリエンス性を高める教育の先進地となる。

例えば、夏の砂丘でのサバイバルキャンプや雪原登山、山奥での滝行など、鳥取県の過酷な環境を生かしたカリキュラムを作ることにより、鳥取県内居住の子供たちに対して高度なレジリエンス教育が提供されるほか、県外からの修学旅行でも人気の地域となる。

※1 計算力・語学力といった学力テストなどで測れる能力ではなく、忍耐力・協調性・自制心など人の心や社会性に関係する力で、数値での測定が難しい能力

※2 困難や逆境に直面したときにそれを乗り越える力

変化のポイント(商品・サービス/価値観・行動/業界/などの変化)

いままでは

学校という限られたフィールドでの教育



これからは

鳥取県の自然を活かした高度で鳥取らしい教育